

《どうでもいい話、その 507》

どうでもよくない皆様へ

働き方改革がテーマのテレビトーク番組で、あるコメンテーターが電車内の映像を見ながら「仕事疲れで、グッタリとつり革にぶら下がっている通勤の人たち・・・」と話していました。この電車の“つり革”ですが、現在は革ではなくほとんどがビニールで出来ています。したがって「つりビニール」と言わなければなりません。また司会のアナウンサーは、つり革は古いと思ったのでしょう「つり輪」と言っていました。これも間違いです。映像の吊り輪の輪の部分は三角で、“輪”を辞書で引くと“円形のもの”と書かれています。したがってこの場合は「つり三角」と言わなければなりません。また事故等で電車が不通になった際、よく「線路の枕木をまたいで歩く人たち・・・」などと報道されますが、これも実際は木ではなく「枕コンクリート」です。物とか状況は、時代とともに変化していくので名称も変えなければなりません。ボランティアで通っている小学校で、図工の授業の際、児童が使用する色鉛筆とかクレパスの色の名称ですが、我々の時代の「肌色」は「うすだいたい」または「ペールオレンジ」と表記されています。やはり人種のことを考慮しているのでしょうか。すると「茶色」も、もともとはお茶の色からきていますが、今は「緑茶」「紅茶」など色々あります。じゃー「土色」にすれば、と思いましたが、これも白土、黒土、赤土など、これも色々あるので、うーん！ 色ごとは慎重に考えなければなりません。

岩波より

《どうでもいい話、その 508》

どうでもよくない皆様へ

こんにちは！関西も梅雨入りし蒸し暑くなりましたが、お元気ですか？

酒、ビール、水などの重い買い物の際は、家の近くのスーパーへ家内と一緒に車で行きます。家内が食料品などの買い物をしている間は、ヒマなので商品を見たりしていますが、そこで気付いたのが飲み物の容器です。ビールは全てアルミ缶で、飲食店などで出すビン、スーパーにはありません。同じアルコール類で日本酒は、量の多いものはビン、ペットボトル、紙パックで、ワンカップは、プラスチック、ガラスなどです。焼酎も同じです。その点洋酒のウイスキーは「オレは西洋だかな」とカッコつけてビンで、ペットボトル、紙パックなどは無視していますが、ワインは「紙パックも仲間に入れてあげるね」と一部あります。ただ洋酒も炭酸などで割り、ハイボール、サワーなどになるとアルミ缶とスチール缶になります。コーヒーは、スチール缶が好きでアルミ缶は少なく、紙パック、ペットボトルとも仲良しです。ジュースは、アルミ缶、スチール缶、ペットボトル、紙パック、ビンなど、みんなと仲良く協調性がありますが、コーラ、サイダーはペットボトル以外は付き合いません。また栄養ドリンクは洋酒をマネてビン派で、アルミ缶のウコンの力が仲間外れでいます。牛乳は「紙パックじゃなきゃ絶対イヤ」と、水も「ペットボトル以外はムリ」と引きこもっています。人間が着る服にこだわる様に、飲み物業界またメーカーも容器にこだわりがあるのでしょうか。ビンとか缶にビンカンです。缶も業界でアルミ缶とスチール缶は統一されていますが、一部系列のメーカーで缶違いもあります。そんなの缶系ない！

岩波より